

万博公園の鳥(第15回)「ツメナガセキレイ」(2026年10月)



← ↑ 樹上・地上のツメナガセキレイ
(20260911 橋本寿紀氏)

ツメナガセキレイは万博公園探鳥会で観察したことのない初記録の鳥、9月探鳥会の前日9/11に観察したとの連絡を頂いたので、翌12日の探鳥会資料にプラスし、参加者全員で探したものの結局見つからなかった。記録に残しておきたいことから、今月の鳥としてツメナガセキレイを紹介したい。

9/11ツメナガセキレイは万博公園もみじ川周辺でハクセキレイ・セグロセキレイと一緒に行動していたが、両種に比し警戒心が強く近づくことはできず、何かに驚くと飛び立ち樹上にとまり、また戻ってきては場所を変えることをくりかえしていた。他のセキレイ類に比べ小さく、シルエットはタヒバリに似ていたとのこと、非繁殖期の姿でわかりにくかったようです。

ツメナガセキレイの英名はYellow Wagtailで、成鳥夏羽の腹部はキセキレイよりも鮮やかな黄色とのこと、一方キセキレイの英名はGrey Wagtail、腹部の黄色ではなく背中の色からつけられている。ツメナガセキレイの生息範囲が広くポピュラーな鳥なので、日本での普通種キセキレイより先に名前が付けられたためでないかと思われる。

和名ツメナガセキレイの名前は、後ろ足の指(後趾)の爪が他のセキレイ類よりも長く、直線的であることに由来しているとのことなので、標識調査等で確認されて名付けられたと思われる。ツメナガセキレイが、今後も万博公園で観察できることを期待したい。

(探鳥会案内)

日本野鳥の会大阪支部主催 万博公園探鳥会

- ・日時 10月10日(土) 午前9時30分 自然文化園中央口 ・解散 15:00頃日本庭園内の予定
- ・担当 平(ひら) 軍二 他 ・持ち物 弁当、水筒、筆記具、観察用具
- ・内容 秋の渡り鳥コサメビタキやセンダイムシクイなどなどの小鳥やカワセミ観察を期待して、自然文化園・日本庭園を一巡する。平年より気温が高めの夏日が予報されており、暑さ対策をしてご参加ください。
- ・参加費 日本野鳥の会会員100円、非会員300円、他に万博公園への入園料 450円が必要
- ・参加希望 大阪支部HPのホームズ様式により申込。HPからの申込が難しい方は平あて連絡のこと

吹田日本野鳥の会主催 万博公園平日探鳥会

- ・日時 10月22日(木) 午前9時30分 自然文化園中央口 ・解散 12:00頃自然文化園内の予定
- ・担当 渡辺 明信 他 ・持ち物 水筒、筆記具、観察用具、弁当(自由)
- ・内容 万博公園自然文化園内のみの探鳥会、昨年はコサメビタキが確認できなかったものの、冬鳥のはしりジョウビタキを観察しました。
- ・参加費 吹田野鳥の会会員無料、非会員200円、他に万博公園への入園料450円が必要
- ・参加希望 平 軍二あてに連絡のこと。

上記に関する問い合わせは平(ひら)軍二へ

メール g.0501.hi@gmail.com 電話 090-6901-1425